



LED照明を持つ越智文雄社長

# 中小企業のLED化を 助成金活用でサポート

政府が緊急経済対策として2014年度補正予算「地域工場・中小企業等の省エネ設備導入補助金」を決定。公募開始を前にエネルギーコンサルタント「あかりみらい」(本社・札幌市)が補助金活用による経営改善を訴えている。

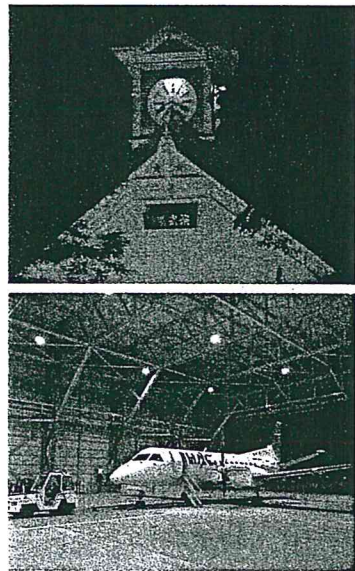
昨年実施された北海道電力の2度に渡る電気料金の値上げは、地域経済に大きなダメージを与えている。しかし今までの値上げは一般家庭と契約50キロワット未満の中小需要のみが対象。50

キロワット以上の電炉や冷凍倉庫など電力多消費産業や農業、水産加工、観光といったほとんどの事業所は、4月以降の契約更改後に、値上げの深刻なダメージが現れると見られる。

そうした中、政府は緊急経済対策として2014年度補正予算で「地域工場・中小企業等の省エネルギー設備導入補助金」を決定。3月16日に公募が開始される。

越智文雄あかりみらい社長は「中小企業のLED・空調・冷凍・ボイラーなど、省エネ設備導入費の半額が助成される総額929億5000

全館の4割の電気料金削減した札幌時計台の格納庫も9割削減



万円の大型補助金制度です。これを活用することで電気料金値上げを克服し、さらに企業の体力を向上させることができます」と語る。

越智社長は1980年に北海道電力に入社。地域経済担当、広報課長などを歴任し、08年の北海道洞爺湖サミットでは「サミット記念環境総合展」の事務局長として、会場となった札幌ドームを連日満員にするなど手腕を発揮した。

起業後は、道内LED業界の台風の目として価格破壊に挑み、札幌時計台の照明をLED化して4割、北海道エアシステム格納庫では9割の電気料金削減を実現。ニセコ町の環境エネルギー

ギョー戦略アドバイザーなど、自治体コンサルタントも務めている。

今回の補助金制度について越智社長は「予算がなくなるまでの早い者勝ちの制度なので、迅速な経営判断が必要です。活用すれば1年以内でのLED導入資金回収も見込めます」と語る。

この補助金の概略を簡単に説明すると、支援対象は「最新モデル省エネ機器等導入支援」(A類型)と「地域工場・オフィス・店舗等省エネ促進」(B類型)がある。A類型は3月16日公募開始で12月11日終了予定。予算額800億円に達した時点で終了となる。またB類型は3月16日公募開始で4月15日終了。6月中旬に採択結果通知予定となっている。

「A類型は、申請手続きも

## 【節電試算例】

交換本数100本/1日12時間、365日点灯、業務用電力の場合

	既存LEDタイプ蛍光灯	LEDタイプ	削減効果
規格消費電力	45W(安定器含む)	15W	▲70%
年間電力量料金	415,224円(安定器含む)	124,567円	▲290,657円
年間基本料金	99,144円(安定器含む)	330,048円	▲66,096円

年間削減電気料金計 ▲356,753円

導入費用(あかりみらい価格、工事費試算値込み、安定器切新工事試算値込み) 480,000円

投資回収年数 1年4ヵ月

既存蛍光灯をLEDに交換した場合の投資資金回収の見込み。補助金活用でさらに回収期間を短縮できる

簡便化された一種のエコポイント型景気対策です。要件が合うならばA類型がおすすめです。中小企業なら100万円以上の設備費用の2分の1が補助されます。まずは見積もりと節電試算を無料でお手伝いします」と越智社長。詳細はインターネットで「菅井貴子のよくわかる補助金解説」で検索するか☎011・876・0820まで問い合わせを。